

会長挨拶

「ウェルカムキャンパス事業 勝原先生の『キャリアってなんだ?』を拝聴して」

2002年度 兵庫県立看護大学卒業

2010年度 (2011年3月) 兵庫県立大学大学院博士前期課程修了

京都大学医学部附属病院 大内 紗也子

会長の大内です。7月28日(月)に念願だった勝原裕美子先生に「キャリアってなんだ?」と題した講演をしていただきました。Zoomと会場にお越しいただいた方合わせて65名の方に参加いただきました。兵庫県立大学での教員時代の話などを織り交ぜつつあっというまの90分でした。学部生時代、勝原先生に「看護システム論」として看護管理を学んだ記憶はおぼろげにあるのですが、「キャリア」について講義を受けた記憶は残っていません。私は、2002年に兵庫県立看護大学を卒業し、念願だった看護師として働き始め最初の3年はただがむしゃらに一人前の看護師になれるように働き、その後もなりたて姿を追いかけてこの20年進んできました。自らの「キャリア」について計画を立てるといよりも、自分のしたいこと、進みたい道を進み、振り返るとそれが「キャリア」になっていたというのが私の進んできた道です。

しかし今の若者、Z世代と呼ばれる新人や学生さんに関わる中でただ「看護師になる」というだけではなく、「看護師になってどうしたいのか?」までを考えることがバーンアウトしないためには必要なのではないかと最近は考えるようになりました。

そんな中での勝原先生の講演はよい意味で肩の力が抜けて、自然に話を聴くことができました。先生ご自身のキャリアの中で壁にぶち当たっても、危機に直面しても学んでいた理論があるから「下がることもあれば、上がることもある」と信じて過ごした話、倫理的な葛藤が起きたときにも枠組みの中で丸「○」を付けること、どんな自分でも丸

「○」を付けること、かけがえのない自分の人生を歩んでいることを肯定的に話しておられ、穏やかな気持ちになることができました。看護師は自分にも人にも厳しいところがあるけれど、看護のプロフェッションフッドを信じて、今の自分を信じて前に進もうとするしなやかさがキャリアを作っていくのだと感じました。「キャリア」とはラテン語の「carraria」(車道・轍)に由来しその意味は「荷馬車が通った道やその轍」を指し、そこから人の辿る足跡、人生の筋道、そして経歴や職業上の成功、遍歴といった意味に発展したそうです(ChatGPT調べ)。

今回勝原先生の講演を拝聴し、参加した人たちの多くは「自分の今に丸「○」を付ける」ことの勇氣と幸せをもらったのではないかと思います。けやき会では、修了生の皆様の仕事においても人生においても豊かに幸せに過ごしていけるようにこれからもささやかながら活動を続けていきたいと思っています。そしていつでもけやき会の役員になってもらえる方を募集しています。

ぜひ、けやき会に活動のご要望とご意見をいただけますと幸いです。



2026年度けやき会役員募集

同窓会の皆様から、けやき会役員を募集させていただきたく存じます。

けやき会は会員数が3,000名を超える同窓会に発展し、幅広い年代の方々と同窓会を盛り上げていきたいと考えております。久しぶりに母校と繋がりたい方、学生時代に学生会で活躍された方、大学院在籍の方、臨床現場の方、母校の教員など、どなたでも結構ですのでけやき会の役員の活動にご興味のある方は、メールにてご連絡ください。自薦、他薦はといません。どうぞ、よろしくお願いいたします。

連絡先：keyaikai.cnas@gmail.com

自身のキャリアについて～勝原先生講演会を終えて考えたこと～

神戸常盤大学 伊東 愛

1996年度 兵庫県立看護大学卒業
2010年度 兵庫県立大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程修了

けやき会の皆さま、こんにちは。私は学部卒業後、色んな人とのご縁の中で保健師として働き、今は教員をしています。そして、保健師として働いた年数よりも、いつの間にか教員歴の方が長くなってしまいましたが、まだまだ学生と一緒に悩んだり、喜んだりして過ごしています。

皆さんは普段、自分のキャリアについて考えたりしますか？例えば、結婚や転職など、何かのきっかけで考えることがあるのかなと思います。私も転職ではないのですが、この春に職場での立ち位置が変わるなど、少し変化がありました。そのような中、今年度のけやき会主催の講演会で、『看護師のキャリアってなんだ？』という面白いタイトルで、懐かしい勝原裕美子先生の話が聞けると知り、すぐに友人を誘って申し込み、参加しました（ちなみに、この友人は勝原先生の大ファンです）。

勝原先生が助手をされていた時の話は、学生だった私には知り得ない裏情報で、そして教員の今だからこそ、「いつもハツラツしていた勝原先生にもそんな思いがあったのだ」と共感できるものでした。

勝原先生の「今の自分を100点と考える？」「どこかで自分に×（バツ）をつける」「自己肯定感が低くなっている」という語りに、「100点？ ないない」「できてないことばかりやー」とキャリアに自信のない自分にハッとしました。

さらに、勝原先生の「エビデンスは変わる」と言う言葉と迫及していく姿勢、講演会の最後に言われた「専門職が専門職であると証明するのは専門職でしかない」というエール。どれも温かく背中を押すものでした。自分で自分を「よう頑張ってるな！」と認めよう、大切にしようと思った時間でした。

私たち看護専門職者は色んな課題や葛藤に出会い、自問自答しながら、日々看護に向かっています。人生100年時代、「これで良かった」と思えるキャリアにできるまで、まだまだ道半ば。色んな人の力を借りて、自分に○（マル）をつけて、看護を楽しみたいです。

関西医科大学看護学部 山本 大祐

2014年度 兵庫県立大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程修了

講演会は勝原先生ご自身の歩みや教育・研究の豊かな経験をもとに語られた内容で、看護師として、また教育者としての自分の在り方を見つめ直す「自分再発見の時間」となりました。

「誰かがキャリアを作ってくれるわけではない」という言葉で始まった講演は、学生のキャリア支援に携わる私にとって本質を突くものでした。「どのように導くか」ばかりに目を向けていた私にとって、キャリアは他者から与えられるものではなく、「私という人生」を自ら築いていくものという視点にハッとさせられました。そのプロセスを信じ、伴走する姿勢こそが本当の支援であると実感しました。

特に印象に残ったのは、「できていないことにすぐ×をつけてしまう」という看護師の傾向についてです。多くの看護職者が無意識に自分に厳しすぎる評価をしている現実、共感すると同時に胸が痛みました。「自分にも他人にも×ではなく○を」という勝原先生の言葉は、優しさ

に満ち、私たちの背中を温かく包み込んでくれるようでした。看護職はエビデンス重視の反面、自身の思いや価値観に気づきにくい傾向があります。だからこそ、先生の言葉が深く心に響きました。

「キャリア上の課題は成長のチャンス」との言葉に、今後どのように学生に問いかけ、寄り添うかを改めて考えさせられました。学生が「できなかった自分」ではなく、「挑戦しようとしている自分」を認められるよう、関わっていきたく強く思いました。

参加者全員で声に出した「私はかけがえのない人生を歩んでいます」という言葉は、力強く胸に響きました。学生が自分に○をつけられるような温かな眼差しをもって支援していきたいと、心に誓いました。

勝原先生のエールを卒業生として直接感じられたこの時間は大きな財産です。このような場を一年がかりで準備・運営してくださった兵庫県立大学同窓会けやき会の皆様に、心より感謝申し上げます。

医療法人おひさま会

おひさまクリニック 松田 智子（旧姓：武林）

2002年度 兵庫県立看護大学看護学部卒業
2015年度 兵庫県立大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程修了

2025年度けやき会主催講演会「看護師のキャリアってなんだ？」を聴講させていただきました。学生時代に勝原先生の講義を受けてから、気づけばもう20年以上が経ちます。看護師キャリアの折り返し地点を過ぎようとしている今、自分のキャリアを振り返るとても良い機会をいただきました。

これまでキャリアという言葉や、どこか他人事のように感じており、深く考えることはありませんでした。しかし講演の中で語られた、キャリアとは「成功や失敗、早いや遅いではなく、経験の連続でありプロセスである」とことや、「他者が評価するのではなく自分自身が評価すべきものである」という言葉が、強く心に残りました。そして、「看護を自分のキャリアにどう引き受けるかは自分自身の生き方の問題」であるならば、決して他人ではなく、自分のキャリアをしっかりと考えたいと思えば、決して大学卒業後、さまざまな環境の中で、その時々を必死で過ごしてきました。

した。振り返ると心が痛くなるような経験も少なくありません。ライブイベントにより思い描いたように進まなかったり、立ち止まったりすることもありました。しかし、その都度しっかりと考え、自分で選んで進んできました。すべてが正解だったとは言えませんが、自分で決めた一つの選択が自分らしいキャリアを形作ってきたとともに、「まずまずのキャリアかな」と受け入れられるものになっているのかもしれないと感じています。

看護師キャリアの後半戦も、自分にできることに挑戦し、自分の選択を大切にしながら、自分らしい看護を探求していきたいと思えます。

同窓生のみならず、それぞれの場所でキャリアを築いておられることと思います。看護という共通語を持つ仲間としてこれからも互いに学び合い、ときには母校で立ち止まり、自分自身を見つめ直す機会を持てたら、うれしく思います。

地方独立行政法人 加古川市民病院機構

加古川中央市民病院 本田 真也

2008年度 兵庫県立大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程修了

けやき会講演会に出席し、けやき会会長と修士課程の同期であったご縁でこの原稿を書いています。

私は現在、20年以上「働きたい」と思い（言い）続けた末、一昨年度より新生児集中治療室（NICU）で勤務しています。部活動に明け暮れて成績は悪く、何とか兵庫県立こども病院に滑り込み就職、NICUに男性看護師は配置されないと知り、ICUでキャリアを開始しました。そこでのモデルとなる男性看護師の存在、また、先に進学した同期2名の後を追って修士課程に進学しました。修了後はこども病院に戻り、小児看護CNSの認定を受け、その後、CNASで大学教育の基礎を学ぶ機会を得ました。CNSの更新もあって臨床に戻るも、諸事情でやむなく別の大学で教員をしました。その間、博士課程へ進学するも臨床に戻り、博士課程を修了して現在に至っています。

講演会の中で「今のキャリアに満足しているか」「何ができれば（どうなれば）満足するのか」という問いがありました。私は職場を転々

とし、その時々で目の前の課題に向き合ってきた一方で、何も成し遂げられていないとの思いがあり、キャリアに満足できていません。勝原先生は自分に×（バツ）をつけずに今の自分を認め、100点からさらに尺を伸ばしていくことの大切さを話されました。私自身、多くの経験と学び、仲間を得て、見えるものが増えました。しかし、すべてをやりきるには限界があるため、これからは捨てることと残ったものに覚悟をもってやりきること満足につながりたいと考えました。

また、原稿を書くにあたり、会報のバックナンバーをみると「あなた方を育てた学派を今度はあなた方が育てていく番だと思えます（2015第19号）」という片田先生の一文を発見しました。看護学の大学教育が進み始めた時期に大学で看護学を学んだ者の一人として、先生方やCNSの諸先輩方の創ってきた道を次の世代につなぐという謎の使命感を持って、今後も頑張ろうと思います。

桜まつり

今年の桜まつりは「Fun & Healthy ～みんなで健活～」をテーマに開催させていただきました。「健活」とは「健康の維持増進を目的として日々に取り入れる活動」のことで、「健康への取り組みをポジティブに行い、個人の健康や幸福がつながることで相乗効果を生む」というビジョンが含まれています。学生から応募してくれた複数のテーマ案に、「楽しく健康について学ぶ」という概念が共通していたことから、実行委員で話し合いこのようなテーマに決定しました。去年からコロナの制限が緩和され、世の中で人々のつながりの大切さが再認識される中で、笑顔や会話を交えながら、地域の方々、先生方、学生が楽しんで健活できる場になってほしいという思いを込めました。

開催までの準備では、去年より非常に多くの出展者の方々にご協力いただきました。初めての企画考案・ビジネスメールの送信などに戸惑うことも多々ありましたが、教職員の方々や学生会のメンバーに支えられ、なんとか開催の日を迎えることができました。不慣れなこちら側の対応に快く応じてくださった出展者の皆様にも深く感謝するばかりです。

当日は天候に恵まれ、学生や教職員、卒業生など関係者をはじめ、小さなお子様連れのファミリーの方やご年配の方など、多くの地域の方々にもご来場いただき、約800名

の方々にございました。

学内の教員による展示では看護体験やがんに対する情報提供等が行われており、当日は非常に多くの人で賑わいました。また、学生会による展示のスタンプラリーでは、集めたスタンプの数に応じて射的のできる回数が増える等の工夫を凝らすことで多くの展示を見て回っていただけるきっかけとなりました。

また外部の展示ではがん、感染症に対する展示やクイズ、実際に手を洗う体験など多彩な企画を展開してくださり、来場された方に楽しんでいただくことができました。

去年までは飲食ブースの少なさから午前中で帰宅する来場者も多かった中、今年は多くの関係団体様に模擬店を出店していただき1日を通して桜まつりを盛り上げることができました。来場者の方からは、「色々見て回れて楽しかった」「すごく勉強になったからこれから気をつける」等のご意見をいただき、達成感ややりがいを感じるとともに、桜まつりが地域の方と繋がり交流できる貴重な機会であることを実感できました。

最後になりましたが、教職員、後援会の方々をはじめ、学生会メンバー、当日ご参加いただいた皆様、桜まつり開催に多大なるご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございました。



第29回けやき会総会報告

2025年4月26日（土）兵庫県立大学明石看護キャンパスにおいて開催いたしました「第29回けやき会総会」は、以下の通り終了いたしました。会員の皆様にご臨席いただく中、全議案についてご承認を賜りましたのでご報告申し上げます。

記

1. 令和7年度 役員選出〈第1号議案〉

大内会長より新役員の候補について説明があり、事前Web上での第1号議案承認54名・非承認1名、総会出席者承認8名、委任状41名で可決されました。また、会則第3章13条の規定に則って、引き続き役員継続する者がいること、また後任者を今年度にかけて募集する旨も説明されました。

会 長：大内紗也子さん

副会長：清原花さん 高橋美沙子さん

会 計：瀧上亜希子さん 朝熊裕美さん

庶 務：下西久美子さん 徳田幸代さん 西谷美保さん 細野可那子さん

2. 令和7年度 事業計画〈第2号議案〉

大内会長より、今年度における事業計画について説明がなされました。“けやき会ホームページの更新・管理について”“けやき会会報の発行・配信、会員と準会員に対する還元事業への寄付”“けやき会主催の講演会”“ウェルカムキャンパス事業の開催”について報告がありました。事前Web上での第2号議案承認54名・非承認1名、総会出席者承認8名、委任状41名で可決されました。

3. 令和7年度 収支決算報告〈第3号議案〉

会計瀧上さんより、令和6年度の収支決算報告がなされました。その際、監査員2名の監査を終えている旨の説明がありました。事前Web上での第3号議案承認53名・非承認2名、総会出席者承認8名、委任状41名で可決されました。

4. 令和7年度 予算案〈第4号議案〉

会計瀧上さんより、本年度の予算案についての説明がありました。事前Web上での第4号議案承認53名・非承認2名、総会出席者承認8名、委任状41名で可決されました。

5. 意見交換

大内会長より、今年度から会計監査とは別に業務監査を行った旨の報告がありました。また会計瀧上さんより、会計細則の策定の運用についても報告がなされました。

以上

第30回けやき会総会のご案内

次年度のけやき会総会を以下の日程にて開催いたします。会員の皆様におかれましては、是非ご参加いただきたく、ご予約の確保をお願い申し上げます。

日時：2026年5月23日（土） 10：00～11：00

場所：兵庫県立大学 明石看護キャンパス

*詳細につきましては、会期が近づきましたらメールでご案内いたします。

お知らせ

● 明石看護学術情報館からのお知らせ

明石看護学術情報館では、卒業生・修了生の学習・研究活動支援のため、下記のサービスを提供していますので、ご利用ください。

(1) 医中誌Webの検索サービス(窓口で申請)、(2) 医中誌Web、PubMed検索時に入手可能と表示されたMedical Online、CINAHL、MEDLINEの文献限定で、複写サービス(窓口で申請、受取り)、(3) 来校できない遠方の卒業生・修了生に対して、入手可能と表示されたMedical Online、CINAHL、MEDLINEの文献限定で複写サービス(電子メールで申請、郵便で返送。1文献あたり上限15枚、一人年間10回を目安)、(4) Medical Onlineのアブストラクト(1件110円)が無料で検索可能となるID/PWを提供、(5) 学術情報館ホームページからUH Discovery文献検索サービスお問い合わせは、laic-akashi@lib.laic.u-hyogo.ac.jp までご連絡ください。なお、これらのサービスは、卒業生・修了生以外の方は利用できません。

● 兵庫県立大学 CNAS(シーナス)看護実践支援センターからのお知らせ

臨床看護研究支援センターは、令和7年度からCNAS(シーナス)看護実践支援センター(通称:CNAS(シーナス)センター)に名称が変わりました。CNASセンターは、臨床現場(医療・福祉施設、地域を含む)と大学が連携し、看護ケアの質的向上を図ることを目的として、兵庫県立大学看護学部の教員が、看護研究、看護教育、コンサルテーション、教員の専門知識を活用したセミナーなど多彩な支援を行っています。今年度は、現場との共同研究を考えるプロジェクト、リカレント教育についてのプロジェクト、文献レビューのプロジェクト、卒業生支援プロジェクトに取り組んでいます。皆さんの臨床実践能力向上の機会や、問題解決の相談の場として積極的にご活用ください。セミナーの詳細な内容や申し込み手続き、相談は、**CNAS(シーナス)センター**のホームページ(QRコード)からアクセスすることが可能です。

今後のイベント開催予定

- あなたの修士論文、眠らせないで論文投稿へ

日時：令和7年12月20日(土) 10:00～12:00

場所：明石看護キャンパス

講師：古川恵美(兵庫県立大学看護学部 教授)



皆さまの参加をお待ちしております。

● 兵庫県立大学大学院 リカレント教育講座2025開催

テーマ『自分の実践をリフレクションで高めよう!』

●ふだんの実践をふりかえると、「当たり前」だと思っていることの中にも、たくさんの知識やスキルが活かされていることに気づきます。そこから、自分の得意なことや苦手なことも見えてくるのではないのでしょうか。患者さんとの関わりや、新人ナースへの支援など、それぞれの場面をリフレクションしてみると、「もっとよくするにはどうしたらいいかな?」と考えるきっかけを得ることができます。自分の経験を意味づけたり、よりよいケアに向けて取り組んだりすることで、日々の実践をもっと豊かにしていきます。

●日時

第1回目 2025年11月12日(水) 18:00～19:30

実践のリフレクション(知識編)
これからの学び場(大学院紹介)

オンラインによる大学院オープンキャンパス
(カリキュラム紹介、個別相談会あり)

第2回目 2026年3月14日(土) 13:00～15:00

実践のリフレクション(演習編)

いずれもZoomによる開催です。

今年度は、自らの実践を振り返り学びあう機会を2回に分けて企画しました。ぜひ身近な同級生や職場の同期を誘ってみんなで語り合ってみましょう。

●講師：小野博史准教授(基礎看護学)

●申し込み方法：オンライン開催ですので、詳細は大学HPをご覧ください。

老人看護領域からのお知らせ

●兵庫・老人看護研究会（明石看護キャンパス内教室において開催）●

【令和7年度の開催予定】

7月19日（土）14：00～16：00（終了しました）

11月1日（土）14：00～16：00

令和8年2月14日（土）14：00～16：00

＊原則、本学大学院の修了生を対象としています。希望があれば、高見（miho_takami@cnas.u-hyogo.ac.jp）まで問い合わせてください。

●認知症看護勉強会●

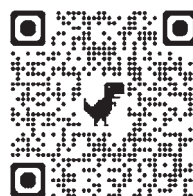
毎月1回土曜日の午後（約2時間）にオンラインにて開催しています。文献の輪読および事例検討を行っています。
＊本学大学院の修了生が運営する勉強会です。ご興味のある方は、高見（miho_takami@cnas.u-hyogo.ac.jp）まで問い合わせてください。

●老人看護領域ホームページ●

老人看護領域に関して、領域が運営しますホームページに掲載しております。
ぜひ、ご覧ください。

【URL】 <https://gerontological-nursing.com/>

【QRコード】



精神看護領域からのお知らせ

精神看護勉強会

精神看護の実践家の方々とともに、実践の奥深さを学びあう事例検討会です。

2025年度開催予定（第121回は終了しました）

第122回勉強会 2026年2月12日（木）13：30～16：00

対 象：看護師（精神医療、精神看護に携わる他の医療従事者も含む）

方 法：対面

精神看護CNSの集い

精神看護専門看護師の事例検討会です。グループ・スーパービジョンの有意義な機会となっています。

2025年度開催予定（第44回、第45回は終了しました）

第46回勉強会 随時開催

対 象：精神看護専門看護師教育課程を修了された方

方 法：オンライン（Zoom）もしくは対面

お申し込み方法

Googleフォーム（QRコード）からお申し込みください。

なお、勉強会中に知り得た個人情報の守秘義務が生じますことを、ご承諾ください。

【精神看護勉強会】



お申し込み・お問い合わせ先

兵庫県立大学 看護学部 精神看護学教室

〒673-8588 兵庫県明石市北王子町13番71号

Web： <http://www.pmhn-cn.as.jp>

TEL / FAX：078-925-9431

Email： pmhn.cnas@gmail.com

担 当：菊池・松本

【CNSの会】



母性看護学領域同窓会開催のお知らせ

母性看護学領域同窓会

母性看護学領域では、年に1度、同窓会を開催し、母性・助産ゼミに所属していた卒業生・修了生、在校生、教員が集い、皆で楽しく交流しています。今年度の同窓会は下記の通り開催します。同窓生の皆様のご参加をお待ちしております！

日 時：2026年3月20日（金・祝）13：00～15：30（12：30 開場）

開催形式：対面とオンライン（Zoom）ハイブリッド方式

場 所：兵庫県立大学明石看護キャンパス（対面参加の場合）

参 加 費：対面での参加者 1,000円（軽食・飲み物代込み）オンラインでの参加者 無料

申し込み方法：Google Forms（<https://forms.gle/AWYc4wKKwb6euEGx8>）よりお申し込みください。

右のQRコードからもお申込みいただけます。



*母性看護学領域の同窓会の案内は、ご登録いただいたメールにてお知らせいたします。母性看護学領域同窓生の方で、メールアドレスの登録がお済でない方は、母性看護学領域HP「同窓会」のメールアドレス登録フォーム（<https://cnas-bosei.jp/alumni/>）よりご入力をお願いいたします。

*ご不明な点がございましたら同窓会担当の川村（mayuka_kawamura@cnas.u-hyogo.ac.jp）までご連絡ください。

メールアドレス登録のお願い

2024年より、会報や総会などのご案内を郵送からメール配信に切り替えております。2022年3月以前に卒業・修了し登録された方および変更のある方は、けやき会のホームページから【会員情報の修正】にアクセスしていただき、メールアドレスの登録・修正をお願いいたします。

けやき会ホームページ【会員情報の修正】

<https://keyaki-kai.com/member-address-fix/>



けやき会 役員一覧

会 長	大内紗也子さん
副 会 長	高橋芙沙子さん 清原 花さん
会 計	濱上亜希子さん 朝熊 裕美さん
書記・庶務	下西久美子さん 徳田 幸代さん 細野可那子さん 西谷 美保さん

編集後記



この度もけやき会会報をご覧いただきありがとうございます。

本会報の配信方法を紙の郵送からWEB配信へと切り替えてから、早くも2年目を迎えました。会員の皆さまからは「気軽にアクセスできる」「過去の記事も見直しやすい」といった声をいただき、少しずつ新しい形が定着してきたことを嬉しく思っております。

また、今年は「キャリア」をテーマにした講演会を開催することができました。同窓会というつながりを、交流の場にとどまらず、新しい学びや気づきへと広げられたことは、大きな一歩になったように感じています。ご参加いただいた皆さまが真剣に耳を傾け、意見を交わしてくださる様子がとても印象的で、今後もこうした機会を大切に続けていきたいと思います。

これからも皆さまにとって親しみやすく、同窓会をより身近に感じていただける情報発信を心がけてまいります。引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

兵庫県立大学同窓会 けやき会 2024年度決算書・2025年度予算案

＜第3号議案＞令和6年度収支決算報告について
2024年度兵庫県立大学同窓会けやき会決算報告は以下の通りです。監査員2名による監査を終えております。

＜第4号議案＞令和7年度予算案について
2025年度兵庫県立大学同窓会けやき会の予算案を以下の通り策定いたしました。

2024年度決算書

収入の部（2024.4.1～2025.3.31）		2025年3月31日	
費目	2024年度決算額	備考	
会費 2024年度 学部入学生	¥980,000	98名×10,000	
2024年度 大学院入学生	¥50,000	5名×10,000	
学部卒業生	¥0	0名×10,000	
大学院卒業生	¥0	0名×10,000	
特別会員	¥0	0名×10,000	
雑収入	¥1,429	利子	
学友会ウェルカムキャンパス	¥225,113		
前年度繰越金	¥6,808,755		
収入合計	¥8,065,297		

支出の部（2024.4.1～2025.3.31）			
費目	2024年度決算額	備考	
I ホームページ	¥71,500		
II 樺まつり 総会	¥432,346	定例総会1回・臨時総会1回、ハガキ郵送	
III 会報	¥121,770		
IV 寄付金	¥300,000	兵庫県立大学法人（学術情報館）臨床看護研究支援センター	
V ウェルカムキャンパス事業	¥449,887	講演案内兼メールアドレス登録依頼ハガキ郵送	
VI 事務	¥302,767	PC・プリンター・ソフト等購入	
VII 役員交通費	¥68,844		
VIII その他	¥17,320	手数料、懇親会参加費	
支出合計	¥1,764,434		

2024年度決算残高	収入総計	¥8,065,297
	支出総計	¥1,764,434
	差引残高総計	¥6,300,863
2024年度決算報告について監査を行い、以上相違ありません。		
監査 栗村 健司 栗村 和代		

2025年度予算案

収入の部（2025.4.1～2026.3.31）		2025年3月31日	
費目	2025年度予算案	人数	会費
会費 2025年度 学部入学生	¥1,050,000	105	10,000
修士入学生	¥60,000	6	10,000
博士入学生	¥0	0	10,000
前年度繰越金	¥6,300,863		
収入総計	¥7,410,863		

支出の部（2025.4.1～2026.3.31）			
費目	2025年度予算案	備考	
I ホームページ			
年間管理費	¥55,000		
臨時ページ更新費	¥20,000		
II 総会			
web総会システム費	¥20,000		
メール配信	¥15,000		
III 会報			
会報作成費	¥150,000		
会報印刷発送（名誉会員）	¥1,000		
メール配信	¥15,000		
IV 寄付金	¥400,000	正会員・準会員に対する還元事業に限り 学会支援金10万円を含む	
V ウェルカムキャンパス事業	¥300,000	正会員が母校に帰る機会の提供	
VI 事務			
消耗品	¥50,000		
遠隔会議システム	¥25,000	Zoom契約料	
VII 役員交通費	¥80,000		
VIII 予備費	¥200,000		
支出総計	¥1,331,000		

収支差額	¥6,079,863
------	------------

